

陸上競技（短距離）プログラム報告 2016年9月10日（土）中村 泰雄

今日のウォーキング中の植物観察では悪茄子を見てもらいました。八年前にも見てもらいましたが、今日はそれとの比較と云う事です。

この雑草は合衆国南東部（カロライナ周辺）の原産で茎や葉に鋭いとげが多いえ、除草剤も効き難く、一度生えると駆除し難い上に、耕運機などですきこむと地下茎の切れ端一つ一つから芽が出て独立した個体に再生し、以前より増えてしまう始末の悪さです。

この始末の悪さは和名(悪茄子)の命名の由来でもあります。名付けの親である牧野富太郎博士は千葉県成田市の御料牧場でこの植物を発見すると、研究の為に自宅の庭に植えました。すると上記のような始末の悪さです。つまりこの和名はこの始末の悪さに手を焼いた末の命名だったのです。

悪茄子は福祉村にも入って来ました。十年ほど前の事です。薬用植物園の裏のサイクリングコース沿い一帯に一塊になって生えていたのです。その後、悪茄子は如何なったでしょうか。上の例から言って福祉村は悪茄子だらけでも不思議ではありませんが。

お馴染みの配布プリントは八年前と同じものを配布しました。八年前の状況を思い出してもらおう一助になれば、と云うわけです。

磯野コーチ指導の準備運動が始まると、私は悪茄子が生えている現場に向かいました。現場は薬用植物園のジョギングコース沿いの一角です。其処で待つこと十分弱、ウォーキングの一行は2~3?の間隔を取った縦長の集団となって到着しました。早速集団を現場に誘導して、予て準備の一言。

『悪茄子を見付けてごらん』

『これ！』

間髪を入れぬ阿久沢君の反応です。彼の指さす先には他の雑草に取り囲まれ、青息吐息の悪茄子が生えていました。牧野博士の家の庭で猛威をふるった悪茄子も『十年経てば只の雑草』と云うわけです。薬草園が毒草園にならなくて良かったね。と云う事で再スタートしてもらいました。

ウォーキングの後は70?の流しを三本走り、1000と400と100と50のタイムを取り、磯野コーチ指導の整理運動の後に、十一時四十五分、KY君のリードでSON 埼玉のエールを叫んで、厳しい残暑の中でのプログラムをめました。